

市販薬の長期使用後に 9 か月でアトピー症状が落ち着いた成人アトピーの経過 (50 歳 男性)

症例 ID：001-50-MSH | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

2001 年 7 月頃、内腿に強いかゆみとかぶれが出て、外用薬で一時的に改善しては再発する状態となりました。耳にも硬さと感覚低下が出ました。

市販の水虫薬や痔の薬を 10 年以上使用しており、受診後にステロイド成分を含む薬の使用を中止しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	内腿、耳、水虫、痔の症状に市販薬や外用薬を使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	強いステロイドを含む薬の使用歴があります。
使用期間	市販薬は 10 年以上使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始直後です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2001 年 7 月頃	発症	内腿の強いかゆみとかぶれが始まり、外用で一時的に改善しては再発しました。
同年 12 月	診断・外用	再発後、より強い外用薬を短期間使用しました。
12 月 4 日	治療開始	煎じ薬、漢方入浴、外用処置を開始しました。
治療 5～44 日	症状の波	下腿、耳、首、腕、臀部などに湿疹や小丘疹が出ましたが、かゆみは短時間で治まることが多くなりました。
治療約 1～3 か月	改善期	内腿と臀部の発疹がほとんど消えました。
治療 9 か月	経過後	IgE が 140 から 75 へ低下し、漢方入浴を終了しました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後 5 日から約 1 か月半の間に、下腿、内腿、臀部、耳、首、腕へ湿疹が広がった時期です。

5. 困りごと

- 市販薬にステロイドが含まれていると認識せず、長期間使用していました。
- 内腿や臀部など、日常生活で不快感の強い部位に症状がありました。

6. 経過のまとめ

治療約 3 か月で内腿と臀部の発疹がほとんどみられなくなりました。

9 か月時点で IgE は 140 から 75 へ低下し、アトピー治療の漢方入浴を終了しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。